

B-biz LINK の理事・監事からの提言(抜粋)

- ①別府市の CCRC (生涯活躍のまち) の委員もしているが、今後のホテル建設ラッシュにより不足する労働力を、都市部のシニア層を移住を兼ねて労働力として活用するなどの施策を考えてはどうか。
- ②九大病院でも建て替えに合わせて、敷地内の有効活用を考えているので、B-biz LINK でも連携していけるのではないかと。
- ③移住・定住施策と創業支援を結び付けるなど、各事業との連携をすることが B-biz LINK の必要性を理解してもらえらる。
- ④学校跡地 (羽室台高校等) をインキュベーション施設として再生し、若者の移住定住策に活用を。
- ⑤留学生を活用して、食事のメニュー表の外国語表記などを継続して実施してはどうか。
- ⑥大同窓会事業において、地元事業者と学生、及び卒業生と結びつきができるような取り組みをして欲しい。
- ⑦ラグビーWC により、インバウンド客の受け入れ整備のためキャッシュレス化は必要不可欠。
- ⑧市内の事業者に対して、カード決済の必要性ややり方についての勉強会をやってはどうか。
- ⑨「別府ファンクラブ」を募集し、サイトを作って情報発信とデータ収集に役立てたい。
- ⑩インターコンチネンタルの会員は全世界に 1 億 3 千万人おり、別府市でのオープンに合わせて全会員に情報発信するとのことで聞いている。別府に関心を持っていただくチャンスでもあるので、閲覧が増える別府市の情報、特に観光情報サイトの充実を図るべき。
- ⑪各事業間のマッチングを図るとともに、別府の「人材マッチング」サイトを作り、人材の有効活用が必要だと考える。
- ⑫新ホテルの建設で、メンテナンスやリネンの部門の人材が不足する。外国人を技能実習生としての受け入れるため制度の緩和が必要。また、シニア層を確保するための方策も必要。
- ⑬人手不足対策として、数件のホテル宿泊客の食事を提供するセントラルキッチンがあればよいが。
- ⑭新設ホテルにとって必要となる職種の分析が必要。一泊 2 食のところは少ないのではないかと。仲居さんは不要かも。

- ⑮中小のホテル・旅館は、商品仕入れなどで連携するなどの施策も必要。
B-biz LINK が仕組みづくりを検討することが出来ないか。
- ⑯HUBER では京都タワーの一角を借りているので、販路拡大で商品販売をするのであれば、協力することも可能。
- ⑰理事としての責任もあるので、B-biz LINK で協議を必要とする事案があれば、ネットワーク（オンライン・オフライン）を通じ、理事の専門的な見地も入れながらタイムリーなミーティングを実施しても良いのではないか。
- ⑱それぞれの事案毎にグループを作り、情報を共有しながらの検討も可能ではないか。
- ⑲ホテルの人員不足解消のため、清掃やリネンといった部門のみの人員派遣を行う事業者を、APU 等と連携しながら学生等に創業させることは出来ないか。